

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

《生きもので季節にふれる》小さくてかわいい「イイダコ」を展示 実は2,000年以上前から馴染み深い生きものです



大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL（ニフレル）」では、館内1階「わざにふれる」ゾーンにて、2022年11月17日（木）から2023年2月下旬までの期間限定でイイダコ（大きさ約5cm、10匹予定）を展示いたします。

イイダコは、胴（頭のように見える部分）の大きさが約5cm、腕を広げても全長約30cm程度で、タコの中では小型の種類です。イイとは「飯」のことで、卵の塊がご飯粒のように見えることからこの名がつけました。晩秋から春にかけて産卵期を迎え、卵を抱えたメスが“子持ちダコ”の名で、この時期の味覚として古くから親しまれています。

また、イイダコは特に大阪府や兵庫県と非常に古くからつながりの深い生きものです。大阪府和泉市や泉大津市、兵庫県明石市や尼崎市、淡路島など、大阪湾周辺に点在する2,000年以上前の弥生時代の遺跡から、イイダコ漁に使われたと考えられる小さなタコつぼが多数発掘されています。今回の展示では、大阪府立弥生文化博物館の協力で、和泉市と泉大津市にまたがる池上曾根遺跡で発掘された弥生時代のイイダコつぼの実物も展示いたします。

ニフレルでイイダコを展示するのは2021年12月に続いて今回で2回目です。

【イイダコの展示について】

《展示期間》2022年11月17日（木）～2023年2月下旬（予定）

《展示場所》1階「わざにふれる」ゾーン

《展示数》10匹予定

《協力》大阪府立弥生文化博物館、阪南市西鳥取漁業協同組合

《お問い合わせ》ニフレルインフォメーション TEL:0570-022060（ナビダイヤル）

※生きものの状況により予告なく展示を変更または中止をする場合があります。



池上曾根遺跡にて発掘された
弥生時代のイイダコつぼ

【取材・撮影のご案内】

本展示に関する取材・撮影をご希望の方は、下記までご連絡ください。

NIFREL（ニフレル） PR・広報担当 田井、西前

TEL: 06-6876-2204 FAX: 06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp



《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



- 名 称： NIFREL（ニフレル）（館長：小畑 洋）
- 運 営 会 社： 株式会社海遊館（大阪市港区、社長：村井 弘幸）
- 所 在 地： 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
- 営 業 時 間： 平日 10：00～18：00 土日祝 9：30～19：00（最終入館は閉館の1時間前）
： ※状況により変更する場合があります。
- 休 館 日： 年中無休。 ※年に1回設備点検のための臨時休業あり。
- 施 設 内 容 8つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、WONDER MOMENTS、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる（生きもの約150種・約2000点）】
： ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」（200㎡・112席）、ミュージアムショップ（NIFREL×NIFREL）
- 入 館 料 金： 大人（16歳以上）・高校生 2,000円、小・中学生 1,000円、幼児（3歳以上）600円
- 交 通： 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
- 駐 車 場： 約4,100台（EXPOCITY全体用駐車場）
- 構 造 規 模： S造（一部SRC造、RC造）3階建
- 建 築 面 積： 約3,500㎡（約1,060坪）
- 延 床 面 積 約7,200㎡（約2,180坪）
- ※ 公式ホームページ <https://www.nifrel.jp>
- ※ ツイッター https://twitter.com/nifrel_official
- ※ Facebook <https://www.facebook.com/nifrel.jp>
- ※ インスタグラム https://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL